

最新データで読み解く CASE競争時代

参加費
無料

～中小企業が進むべき技術とは～



本セミナーでは、自動車電動化の方向性を、講演および部品に触れながら解説します。

前半は、CASEによる中小企業への影響とその対応について、元自動車メーカー所属の2名を講師に迎え、今後の電動化対応を考察します。

後半は、電動化された各部品を実際に分解して部品構造を確認しながら、技術解説・変遷・比較を行います。電動化の一連の流れを見られる機会ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

日時：令和7年9月10日（水） 10:00～15:30

会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室（仙台市泉区明通二丁目2番地）

	時間	テーマ・内容	定員
セミナー	10:00 ～ 11:00	「CASE時代を勝ち抜くための技術視点とは・・・」 CASE化により中国をはじめとした競争力激化、モノづくりの革新を最新データやリアルな技術情報から紹介。将来日本の中小企業が勝ち抜くための技術視点を解説。 講師：株式会社ティムネット 柳原秀基氏（元日産自動車 エキスパートリーダー）	30
	11:10 ～ 12:10	「CASE時代での中小製造業の生き残り方策について」 CASE時代に中小企業に大きく影響するキーファクターと、生き残るためのキーポイントを具体例を示しながら説明。 講師：株式会社ティムネット 荒木克己氏（元トヨタ自動車 主査・元トヨタ車体 参事）	
	12:10～ 12:30	ミカタプロジェクト事業説明 担当：みやぎ産業振興機構	
機能 構造 研修	13:30 ～ 15:30	「電気化された部品の変遷および技術比較」 HVへの変遷、電動化、EVの技術、機能部品を現物確認しながら解説します。前半の講演を踏まえ現物確認により、参加者の今後の技術的方向性の考察を深めます。 講師：水田 謙（みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクトコーディネーター） 河田 俊彦（宮城県自動車産業振興アドバイザー） 平賀 豪（宮城県産業技術総合センター 技術主査）	30

本事業は、経済産業省 令和7年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）と連携して実施する研修です。

お申込み方法 下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込み下さい。

URL（<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=26952>）

申込期限：9月5日（金）

